

宇治市環境保全審議会会議録

会議名	平成28年度第1回宇治市環境保全審議会
日時	平成28年9月12日(月) 午前10時00分～午前11時00分
場所	宇治市役所8階 大会議室
出席者	<p>委員 久保田委員 松良委員 山田委員 松原委員 吉田委員 山仲委員 多田委員 斉藤委員 鳥居委員 江口委員 内川委員 曾和委員 五十嵐委員 得田委員(代理)</p> <p>宇治市 宇野副市長 (事務局) 本城市民環境部担当部長 井澤同部副部長 川北環境企画課長 吉岡同課副課長 山口同課環境企画係長 中嶋同課主任 櫻井同課主任</p> <p>傍聴者 0名</p>
1	開会
2	<p>委嘱状交付</p> <p>宇治市環境保全審議会委員の任期満了に伴い、平成28年9月1日より2年間の任期で新たに委嘱を行った。</p>
3	副市長挨拶
4	<p>正副会長互選</p> <p>「宇治市環境保全審議会規則」第4条第1項の規定により、互選により会長に松良委員、副会長に斉藤委員が選出された。</p>
5	正副会長挨拶
6	<p>報告事項</p> <p>(1) 宇治市環境保全審議会の沿革について 事務局：山口係長より、資料1「環境保全審議会の沿革」についての説明を行った。</p> <p>(2) 環境マネジメントシステムのあり方について 事務局：山口係長より、資料2「環境マネジメントシステムのあり方について」の説明を行った。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>(曾和委員) CO₂排出量の中に緑地や森林による吸収量については、算定する予定はあるのか。</p> <p>(事務局) 森林による温室効果ガスの吸収効果について、宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画の中に森林の吸収量を見ていくという内容は盛り込まれているが、算定には入っていない。ただ、宇治市の方でも宇治市の中にどのような森林があって、</p>

どのくらいの吸収量があるのかの計算は別途している状況である。ISOでも目的目標を持っており、宇治市の市有林で間伐を行なうことも目的目標の中に含まれている。森林の更新を促していく作業がCO₂削減に繋がっていくものとして、目標として挙げているところである。

(松原委員) 環境マネジメントシステムのあり方についての中で、例えばKESなりを取得しようというのは、どういうニュアンスで報告したのか。紹介という趣旨でいいのか。

(事務局) 環境マネジメントシステムを説明したのは、市としてもEMSの取組を行なっているところだが、一方で宇治市内の事業者にもEMSの取組について促進していくという立場にたっている。皆様の中でもご存じない方もいるかもしれないので、1つの紹介という形で話をしたところである。皆様の所属の団体、組織、企業等で機会があれば今回知った情報を基に取り組んでいただければ幸いなことである。

(松原委員) 今回ISO14001を自己宣言されたのは多分費用の面でされたのかと思う。現実的なコストを考えるとローコストなものがある程度必要かと思う。

(久保田委員) 環境保全審議会はCO₂削減がメインなのか。いろいろな分野があると思うが、どこに特化したものか。

(事務局) 本審議会は昭和52年設立以降宇治市の環境という非常に幅広い分野の中で議論されてきたところである。ただ、環境というのは今は環境企画課が事務局を持っているが、その分野だけでなく、建設部や都市整備部等様々な分野で環境は影響を持ってきているのが現状である。この間、宇治市においても公害、例えば水質汚濁や大気汚染等が大きな問題を迎えた時期もあったが、現状は一定そのようなものは対策が進み、かつてほど影響が大きくなっていないものもある。ここ5年～10年の中で、地球温暖化対策が世界的な規模の中で大きく着目されてきている。宇治市としても対策を求められていることも一つの側面として認識すべきところであろうと思っている。したがって、今回地球温暖化対策という言葉がたくさん出てきているが、今後しっかりと対策に取り組んでいかなければならないことだと思うが、併せて宇治市の環境という側面で、公害等の部分についても状況に応じた審議等お願いすることになるかと思う。皆様においては、幅広い意見をいただければと思っている。

(山田委員) 今日の話だと、事業者に対して環境マネジメントシステムを推進していこうというのが強いと感じたが、第2次地球温暖化対策地域推進計画によるとCO₂排出量は産業部門では減少傾向だが、民生部門については増加傾向にある。民生部門について、もう少し地球温暖化対策として推進していくべきなのではないかと思

うが、並行して対策をしているのか。

(事務局) ご指摘のとおり。民生部門の影響は非常に大きい。宇治市域を見た場合、割合としては無視できない部分。市としてもまず市民への啓発をしてきている。啓発事業になってくるかと思うが、環境フェスタや緑のカーテン講習会等個々の事業は積み上げて実施してきている。ここ10～20年の中で、人口は減っているが世帯数は増えている。核家族化、一人世帯が増えてきている状況があり、それぞれのライフスタイルが変わってきて、各家庭のCO₂排出量が上昇傾向にある状況もある。受け入れるところは受け入れながら、市民に対する啓発活動を地道に粘り強く行なっていく必要があると考えているところである。市民に対する啓発と事業者への啓発とを併せて取り組んでいきたいと考えているところである。

7 その他連絡事項等について

(事務局) 事務局より、以下の連絡がなされた。

- ・今年度における次回の環境保全審議会については、現在のところ開催予定はない。
- ・配付された宇治市環境保全審議会委員名簿は、ホームページ等で公開予定。
- ・対象者には事前に個人番号届出書等を送付しているので、提出してほしい。

(会長) 会長より、以下の連絡がなされた。

- ・議事録の作成は、事務局がおこなう。
- ・内容の精査は、会長がおこなう。

8 閉会